

篠田 繁雄

去る、10月18日（土）我々業界恒例の「釣キチ」秋期大会が開催されました。対象魚は「アイナメ」、場所は「大根崎」と頃は良しと、各人様々な期待を胸に「東宮浜」に集合、当日の天気は台風一過のもと、曇天花雲と釣日としては、まあまあの出来、後は潮さえ良ければ大漁間違いなしの確信で自信満々の「モサ達」が準備を開始しました。

しかし、本日の参加総数は36名（3名欠席）、例年になく少ない。ここ数年の不漁を知っての事か？（幹事として誠に面目無し）。ただ不参加の方で、健康を害して欠席する人々等常連の方が居ないのは何か一抹の寂しさを感じる次第で、これも時の流れなのかなとの思いが一瞬脳裏をかすめました。

いよいよ出発。波に揺られること約40分、船は目的地の「大根」に到着。各人全神経を一本のハリスに集中して、我先にと最初の一投を入れるがなかなか「アタリ」なし。結果はポツポツとたまに釣れる程度。思いあまって船頭さんに状況を聞いた所、先日の大型台風のため大量の河川水が流入し、塩分が下がった事。今年の猛暑のため、今だ水温が下がらずに魚は深場に集まっているとの事で期待ハズレ。これでは、釣れる

訳などあるわけないと思いきや、皆それでも今晚の夕食用にと約束して来たのか只、黙々と釣糸を垂れて、上がりの時間まで一匹でも釣ろうと頑張っていました。お疲れ様でした。

幹事役である私と中川氏は、ここ数年結果が悪いため、日取りの設定に充分注意し今年こそ皆さんに喜んで戴こうと決めた次第ですが、今年も台風のため、軽く一蹴というハメになってしまいました。釣りというのは本当に難しいものと思います。

相撲で「心・技・体」が一体となった時、本当の強さが発揮されると言いますが、釣りも「潮・風・水温・それに腕が一体となった時に大漁が望めるもの」と、この頃痛感しております。来年こそ、ベストを尽くして最良の日を決め釣キチの皆さんに喜んで戴ける様努力致しますので、それまでシッカリ腕を研いておいて下さい。

来春の春、又お会いしましょう。ごきげんよう！



記

優勝	(大東設計)	阿部 淳一郎
準優勝	(長 大)	荒木 孝 広
3 位	(日 さ く)	朝倉 孝 夫
4 位	(国際航業)	佐藤 典 夫
5 位	(国際航業)	佐々木 博 志
7 位 (ラッキー・セブン賞)	(建設企画)	浅野 自 由
8 位 (当日賞)	(和田工業)	赤間 良 人
10 位	(日本工営)	大原 光 雄
15 位	(サンコー)	篠田 繁 雄
20 位	(日本工営)	田中 昭 治
25 位	(日本工営)	岡田 輝 夫
30 位	(ダイヤ)	千葉 和 夫
ブービー賞	(東開基礎)	小山 広 法
特別賞	(復建技術)	安 達 実



(サンコーコンサルタント(株))